



かけはし

娘ごみを偲ぶよすがぞ天鷲の

城きはやかに青空にたつ

賀祥山 禅林寺 第四十世 山中 律雄



天鷲城天守閣

由利本荘市岩城地区は、藩政期には岩城氏の亀田藩の城下町として形成されました。寛永5年（1628年）に建立されたと伝わる古刹龍門寺は、元々は福島県いわき市に創建された岩城家の菩提所でしたが、元和9年（1623年）、岩城吉隆が亀田へ移封となり亀田藩主岩城氏の菩提寺となりました。

現在の岩城地区には、海水浴場や道の駅「岩城」に隣接する岩城オートキャンプ場。そして、藩政時代の士農工商の建築物を再現した天鷲村や高さ22メートルの天鷲城、美術館や茶室のある亀田城佐藤八十八美術館、天鷲ワイン城があります。また、落差25メートルの亀田不動の滝は、マイナスイオンたっぷりの癒しのスポットです。

見どころいっぱい岩城地区は、NHK大河ドラマ「真田丸」により注目を浴びている真田信繁（幸村）の五女・お田の方と所縁があります。今回の「かけはし」は、お田の方の数奇な生涯を特集しました。



古寺探訪

にちれんしゅうけんしょうざん みょうけい じ
日蓮宗顕性山 妙慶寺 (由利本荘市亀田)

今年のNHK大河ドラマ「真田丸」の放送により脚光を浴びているお寺があります。真田信繁(幸村)の五女、お田の方(別名を「なお」「顕性院」とよぶ)によって建立された亀田の妙慶寺です。戦乱の武将の娘が、なぜ秋田の地に移り住むことになったのかを知りたくて尋ねてみました。

妙慶寺は、第二十世・石澤泰潤氏が遷化されたのち、住職が不在のお寺になっています。境内の宝物殿には、お田の方が着用したという甲冑など寺宝が展示されていると聞きましたが、残念ながら冬期間(11月の下旬から3月末まで)は閉館中だそうです。天鷲村の資料館には、常設の資料展示があります。



秋田県史跡指定の寺院で、墓域にはシーボルト事件の馬場為八郎の遺跡や宝物殿にはお田の方等の遺品など多くの寺宝が展示されている。(写真は妙慶寺本堂)

お田の方の母は隆清院といい、豊臣秀次の娘です。秀次は豊臣の家督争いのため、秀吉によって自害させられました。家族も斬首されましたが、隆清院と姉の二人だけは難を逃れました。その後、真田信繁の側室となり、お田の方が生まれました。大坂冬の陣の前後、隆清院とお田の方は、信繁とともに大坂城に入城していました。しかし、戦況が悪くなったため、母と子は京都に身をひそめました。その後、大坂

戦乱を生き抜いてきたお田の方にとって
亀田での生活は初めて迎えた至福のとき



お田の方

夏の陣が勃発し、信繁の活躍で家康を追いつめました。信繁は打ち死にしました。そして豊臣秀頼が自害し、ついに大坂城は落城したのです。

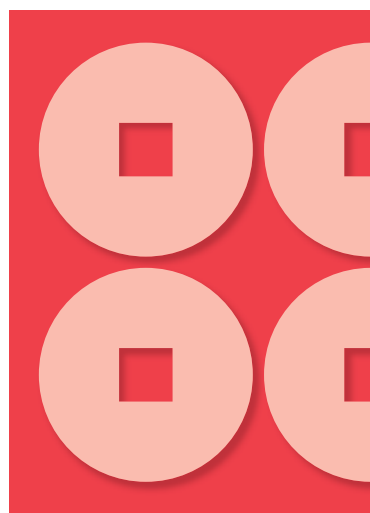
徳川方によって、残党の搜索が行われ、お田の方は捕えられて江戸へ送られました。その処分は大奥勤めをするというものでした。軽い刑で済んだのは徳川の味方だった叔父・真田信之が幕府に掛け合ったためであるといわれています。3年後、大奥から出ることを許されたお田の方は京都で母・隆清院と再会。お田の方は大奥勤めの経験を買われ、京都のある屋敷に給仕人として入ることになりました。

寛永6年（1629年）のこと、初代秋田藩主・佐竹義宣と弟・宣家は京都を訪れ、その際に給仕をしたのがお田の方でした。ある朝、女たちの勇ましい掛け声が聞こえ、何事かと外に出てみるとお田の方が他の女たちに長刀を教えているところでした。その長刀さばきに感銘し身元を尋ね真田信繁の娘であることを知ります。そして弟・宣家の側室に迎えるようとりはかったのです。

佐竹宣家とお田の方はとても仲睦まじく、翌年には長男・重隆を授かります。寛永9年（1632年）この幼子である重隆が幕府より亀田藩主となるように命じられます。そこで父・宣家は、重隆の後見人となり、名を岩城宣隆と改め、正室となったお田の方とともに亀田に赴任しました。



右から、母・隆清院、お田の方、長女・寂寥院、信繁の三男・幸信が迎えられ三好の姓を名乗った。



妙慶寺は、もともと久保田城下に真田家菩提のため、供養堂として建立されましたが、亀田赴任により亀田に移し、お田の方が開創しました。お田の方は熱烈な日蓮宗の信者で、開創に際して持仏の宗祖像をはじめ、曼荼羅、鬼子母神などを寄進しています。

亀田に落ち着いたお田の方は、大名の妻でありながら、重隆のオムツ替え・食事・母乳などの育児を給仕人だけに任せず自らも行いました。また、礼儀作法・読み書き・武術も熱心に指導したそうです。こうした姿が良妻賢母の鏡として語り継がれています。さらに一男一女に恵まれています。この亀田での暮らしは乱世に少女時代を過ごし、数奇な運命をたどってきたお田の方にとって、初めての平和で幸せな時であったに違いありません。

しかし、その幸せも長くは続きませんでした。寛永12年（1635年）重隆が参勤交代で江戸にいる最中、亀田藩邸でお田の方は病に倒れ、そのまま32年の短い生涯を終えられました。夫・宣隆の悲嘆はたいへんなものだったそうです。また、長女は物心がついた頃に母を亡くし、その悲し

みに耐えきれず心の病にかかってしまい、出家して妙慶寺でお田の方の菩提を弔う生活を送ったとされています。

（参考文献）

- ・天鷲村（資料館）
- ・「真田氏データベース」
www.rokumonsen.com/source-of-future/sanada-db/
- ・心のふるさと「あきたのお寺」秋田魁新報社
- ・「TVガイド真田丸」東京二コース通信社



歳時記

2月4日

かけよ 掛魚まつり（金浦）



「たらまつ 鱈祭り」とも呼ばれ、昔は港近くの神社の宵祭りよいで旧暦12月15日の夜に行われていましたが明治年間、金浦山神社と合祀ごうしして以来、毎年2月4日となりました。

祭りは漁港金浦の伝統を物語るもので300年以上前から各船主がその船でとれた一番大きな魚を神前に掛け供え、海上安全、大漁、五穀豊穰を祈願するようになりました。また、海難時の近隣の援助に感謝を込めて鱈の大鍋を参詣人さんけいじんにふるまうようになったそうです。

（観光協会資料より）



JA葬祭 みどりの会

会員募集中

お問い合わせ・申し込み

入会金1万円で終身会員となり、ご家族（同居）どなた様でも特典をご利用いただけます。

（株）ジェイエイゆり葬祭センター・虹のホールゆり・虹のホールしらゆき
またはお近くのJAへ！

知っておきたい 基礎知識 その7

「葬儀をどこで行うか？」

葬儀をどこで行うかについて考えてみましょう。

寺院葬

お寺で行う葬儀のことです。自宅の代わりにお寺で行いますが、地域によっては、葬儀当日、自宅に親類が集まり葬儀を行い、お寺に移動し、告別式を行うところもあります。

メリット

自宅に比べて広いので、多くのご会葬者が参列できる。駐車スペースが確保されている。

デメリット

冷暖房の快適さは期待できないことが多い。

自宅葬

ご自宅で行う葬儀です。農村部では古くから冠婚葬祭は自宅に招いて行うものでした。そのため部屋の作りも広くなっています。祭壇を所有している方もいらつしやいます。従来、葬儀は相互扶助のうえに成り立っていました。かつては死者が出ると村中の人が集まって葬列に使う葬具の準備をしたものでした。現在は葬儀業者がお世話し葬儀社

ホール葬

専用の葬祭ホールで行う葬儀のことです。葬儀の開式前に故人の写真を上映したり、好きな歌を流したりなど、みんなで故人を偲ぶことができます。ご葬儀では「様々な選択に迫られたうえ、ご寺院や親戚、ご会葬者の接待で慌ただしく終わった」と感想を聞きますが、ホール葬ではスタッフが接待を肩代わりしますのでお別れの時間と心のゆとりを確保することができます。

また、身寄りのない親戚の葬儀のためにホールをご利用される方もいます。

の祭壇を利用することが多くなりました。

メリット

移動が少ない。物と人手があれば出費は少なくて済む。

デメリット

会場作りのため家具の移動等で人手が必要。最近の住宅事情ではスペースが狭い。駐車場の確保がむずかしい。家の中を見られたくないという人もいます。

らつしやいます。少人数でのご葬儀であれば、和室でのご葬儀を行うこともできます。

メリット

安置からご利用することもでき、お通夜・ご葬儀・法要・会食を同一の場所で行えるので移動が少なくて済む。冷暖房が完備、椅子席であり、十分な駐車スペースがある。また、ご親戚の手伝いを最少にできる。

デメリット

接待にかかる費用や会場使用料がいくぶん上乗せになる。

直葬

身内のみで火葬だけを行うことです。この地域でもみられるようになりました。火葬のためのお経をお願いすることはありますが、葬送のための儀式は行われません。格安の料金をうたう葬儀業者は直葬のことを言っていることがありますので、注意が必要です。

背景には、経済的な事情や菩提寺がないとか人間関係の希薄化があります。また、菩提寺がある場合は、後々トラブルになる場合もあります。

近年、元気なうちにお葬式のことを口にすることは、タブーなことではなくなりました。エンディングノートを活用される方もいらつしやいます。どのような内容で葬儀を行いたいのか事前相談されることをおすすめします。お見積書も作成いたしますので、弊社もしくは虹のホールにお立ち寄りください。

(1級葬祭ディレクター 佐藤正人)

地域に根ざして

この一年、地域貢献として行ってきた活動をご紹介します。

終活セミナー

① 4月26日

虹のホールしらゆき

② 7月12日

由利本荘市市民交流センター

佐藤税理士により相続税をわかりやすく解説していただきました。

しる税ミナール よくわかる！改正相続税
佐藤税理士事務所 所長 佐藤良一氏



美味しいお茶の淹れ方やエンディングノートの書き方も好評でした。



人形供養祭

6月28日

虹のホールしらゆき



お人形にお別れし手を合わせる子供たち。

絵手紙教室

6月28日

虹のホールしらゆき



先生から「ヘタでいい。ヘタがいい」と言われハガキをはみ出すくらいのはびと描いていました。



高昌寺ご住職よりご供養のあと講話をいただきました。

J A葬祭虹のホールプレゼンツ

『ライフ』

「今の人生を支える、大切な人の言葉」

ABS秋田放送テレビで

第1・第3土曜日

午前9時25分から放送

県内各地で活躍されている人にスポットをあて、中島みゆきの「糸」にのせてお送りする5分間番組です。人生の様々な出会いの中で心の支えになった言葉を紹介しています。

7月5日の放送では、由利本荘市西目町・齊藤久さんが登場。幼い時から楽器が好きでバンドで演奏していたこともありましたが、



齊藤 久さん

みんなで楽しむ音楽活動をしたと平成22年「みんなで歌う会」を結成しました。最初に集まった6人のメンバーから「気軽に楽しく歌いたかった」と喜んでいただけことが嬉しかったといえます。コンクールに出るとかではなく大きな口を開けて歌うことを楽しみに今では60人の仲間が集っています。

かけはし歌壇



バスの中割れんばかりの歌声よ

園児のパワー我に移り来

裏山に掘りしたけのこ新しき

メニューの増えてうから喜ぶ

乳ふむ嬰兒に手を伸ばししが

幼なはずに触るることなし

耕作をする人のなく荒れ果てて

畑一面にたんぼぼが咲く

六魂祭の空にはブルーインパルス

飛行機雲のハート描きぬ

園児らといもを植えて祖父母らに

船底形に植えよと学ぶ

和服着てホテルの内を歩まんに

色あせて壁に貼られし福澤心訓

おもいおこして声に読みあぐ

助詞ひとつ変えたるのみに我がものと

思えぬまでのうたとなりたり

南無南無と教えて諭す母親に

しつけの基本見しこちする

ブロッコリー茹でつつおれば隠れいし

小さき青虫浮きくる哀れ

バス降りてゆきし幼ら迎えたる

家族に会いて顔のやわらぐ

二十歳にて母見送りし義理の姉

寺守りきて独り逝きたり

早天のいく日の後の紫陽花よ

花は萎れて雨ふるを待つ

花盛り愛でて残しし詰草の

刃にからまりて今日は刈り得ず

書き終えし絵手紙貼りて見せ合えば

弾けんばかりの紺色の茄子

嫁ぎたる子の帰りにリズムよく

野菜をきざむ音に安堵す

寺庭にかたまりいずる女郎花草

刈りの人むべに刈りたり

真昼間の電車に乗ればおのおのは

バリアはるごと距離おきて座す

帰省せる人と村人行き交いて

墓地にかたみの無沙汰を詫びる

幼子に流行し手足口病の

季節変わりて衰えゆかん

踊り子のわが前すぐる時の間に

母の着物のかをり漂う

長月の風にさやりてコスモスの

軽き花々定めなく揺る

野良猫が家猫になりて三月半

時におもての野良猫を呼ぶ

山深き永平寺にて納骨を

なしし夫の待ちいるごとし

友の書きし父の思い出読みながら

私も重ねる父の思い出

白内障手術の説明聞きながら

気持ち揺らぐも詮なきことか

参詣の人に折々呼び出され

住職は外出叶わざりしとぞ

街路樹の赤く熟れたるナナカマド

口に含めばただただ苦し

軒下のしまひ忘れし風鈴の

音色さびしく日の暮れてゆく

秋の田は黄金色に輝きて

芳しき香をひすがら放つ

にび色の雲のしたびを移りきて

黒雲が雨降らし過ぐ

初冬の山と湖面に映る山

生死の背中合わせに似んか

余所行きの服をまといえる我の短歌

見学に来し人らをむかう

刈り込みを終えたる庭木整いて

にわかに空気が澄めるこちす

絵本より抜けたるとき動物の

形の雲を予らは喜ぶ

農聖はかくなる者ぞ一年に

一万余首の歌詠みしとぞ

地を這えるごとくたおれしコスモスを

掬いあげんと強き日がさす

形見なる緋の着物さき織りの

状差しとなりわれに届きぬ

パーレーボールの新人戦に挑む孫

おそろく胸の高鳴りていん

すこやかな日々を願いてこの年も

元旦の朝神社に詣ず

元旦に父を見舞いて帰る道

夕べの風の寒さ身にしむ

つじつまの合わざる事を言いし

のち己を笑う老い母哀れ

か。

か。

か。

短歌仲間募集!

当社主催の
短歌教室を毎
月、にかほ市
院内 禅林寺
にて開催して
います。参加者のほとんどが初心
者。講師の禅林寺住職・山中律雄
氏は歌人であり、テレビや新聞な
どで講師や選者を務めていらつ
しゃいます。上の短歌も添削指導
後の作品です。

初心者の方、大歓迎いたします。
あなたも短歌を始めてみません
か。

おのづから哀しみは湧く亡き君の
裸木の林に積りたる雪の山ひといきに
麓より見ゆ
雪の無き外窓越しに見ゆ



お客様の声

家族葬でしたので
簡単に思っていた
のですが、わから
ない事ばかりで、
親切ていねいに教
えて頂き本当に有
難うございました。

〈K様〉

全てにおいて大満
足の葬儀・告別式
を行うことが出来
て、故人も喜んで
いると思います。
スタッフの皆様の
心のこもったおも
てなしに感謝です。
ありがとうございました。

〈S様〉

皆さん親切で優し
く対応してください
感謝しています。
人が亡くなってい
ますので家族は一
度うかがっていた
ことも忘れてしま
うことも度々です
が、その都度きち
んと説明してい
だき、話が脱線し
ても根気よく聞い
てくださり感謝申
し上げます。あり
がとうございました。

〈K様〉

出張セミナー 承ります。

p 6で紹介しました
「みんなで歌う会」を
皆さんの所でひらいて
みませんか。老人クラ
ブや女性部など皆様
のお近くに出張いたしま
す。

その他、葬儀に関す
ることなど、ご要望に
合わせて出張セミナー
を開催します。お気軽
にお問合せください。



編集 後記



「夫れ木をうえ候には大風吹
き候へどもつよきすけをかひぬ
れば・たうれず、本より生いて
候木なれども根の弱きは・たう
れぬ、甲斐無き者なれども・た
すくる者強ければたうれず、す
こし健の者も独なれば悪しきみ
ちには・たうれぬ(日蓮大聖人)」
(通解：そもそも木を植える場
合、大風が吹いたとしても強い
支えがあれば倒れない。もとも
と生えていた木であつても根の
弱いものは倒れてしまう。弱く
不甲斐ない者であつても助ける
者が強ければ倒れない。少し頑
健な者でもひとりであれば悪道
に倒れてしまう)
人生はどんな人と出会うか
によって決まる。そう断言しても
間違いないと思う。若くして亡
くなったお田の方の無念さは計
り知れない。しかし、戦乱の世。
いつ命を落としてもおかしくは
なかっただろう。せめて安寧の
ひとときをこの亀田で過ごして
いただけたことが由利に住むひ
とりとして嬉しく思う。
季節は弥生・三月。人生は足
早に過ぎていく。いつ訪れるか
知れないその日に後悔すること
がないよう、人との出会いに感
謝して生きてゆきたい。



(株)ジェイエイゆり葬祭センター

本店／〒015-0852 由利本荘市一番堰200-1

0120-2468-08

☎ 27-1718 FAX 27-1715

メールアドレス：jayurisousai@clock.ocn.ne.jp



JA葬祭 虹のホールゆり

由利本荘市川口字八幡前41-1

☎ 23-7716 FAX 23-7717

JA葬祭 虹のホールしらゆき

にかほ市三森字三嶽森41-1

☎ 62-8171 FAX 62-8172

年中無休・24時間受付